

JAの総合性を発揮するための 職場づくりと人材育成



糸島農業協同組合

代表理事組合長

松尾 照和

1. J A系島の概況

1) 位置



2) 地域（事業エリア）

福岡県前原市、糸島郡二丈町、志摩町
（平成22年1月1日より糸島市）

- 管内人口 100,643 人
 - 前原市 : 69,501 人
 - 二丈町 : 13,354 人
 - 志摩町 : 17,788 人
- 管内世帯数 36,228 世帯
 - 前原市 : 25,487 世帯
 - 二丈町 : 4,687 世帯
 - 志摩町 : 6,054 世帯



2. JA糸島の概要

◆糸島農業協同組合

住 所 福岡県前原市前原東2丁目7番1号

設 立 昭和37年11月

組合員数 正組合員 6,141名、准組合員 6,232名

出資金額 2,000,196千円



●事業実績(平成20年度)

農産物の販売 98億円

購買品の取扱 82億円

貯金残高 766億円

融資残高 262億円

長期共済 4969億円

●従業員数 485名

(嘱託・臨時・パートを含む)



糸島を心から愛し
しっかりと糸島の大地を
踏みしめて営々と農業
ひとすじに生き抜いた人々が
農業の生産性向上と
福祉の向上を目指して
農協に参画した人達で創る
糸島農協はあくまで
生産農協を標榜して前進する

慈悲

2) 組合の沿革

昭和37年	11月	糸島郡内 14農協2連合会の大同合併により、糸島郡農業協同組合を設立
昭和39年	10月	みかん選果場落成
昭和43年	10月	糸島郡農協本所落成
昭和49年	6月	生活センター（A-COOP前原店）オープン
昭和52年	2月	貯金残高200億円達成
昭和55年	1月	年金友の会結成大会
昭和56年	4月	前原カントリーエレベーター竣工
昭和57年	2月	農村地域金融優良事例推進事業で「農林水産大臣賞」受賞
昭和59年	8月	全国銀行協会 内国為替制度へ加入
昭和60年	2月	長期共済1億円友の会結成
昭和62年	3月	地元金融機関とCD相互提携開始
平成元年	4月	西部カントリーエレベーター竣工
平成2年	11月	第1回 ドリームフェスティバル開催
平成3年	7月	東部カントリーエレベーター竣工
平成4年	4月	農協からJAへ愛称を変更 10月糸島農業協同組合へ名称変更、支所から支店へ名称変更
平成6年	10月	子会社設立「(株)ジェイエイトしま」(葬祭事業を開始)
平成7年	4月	前原東部地区 共同育苗センター施設竣工
平成8年	2月	九オン新オンラインシステム稼働
平成9年	7月	営農総合センター竣工
	12月	A-COOP志摩店オープン
平成10年	3月	園芸流通センター
平成11年	10月	駅前支店を前原支店へ統合
平成12年	2月	JA-PORTA (A-COOP前原駅南) 竣工
	4月	介護事業(支援・訪問介護)開始
平成13年	12月	貯金残高700億円達成
平成15年	5月	デイサービスセンター「ひまわり」オープン
平成16年	5月	JASTEM(農協系統信用システム)へ移行
平成17年	5月	新支店体制スタート(支店再編:14支店から9支店体制へ)
平成19年	4月	JA糸島産直市場「伊都菜彩」オープン
平成21年	6月	(株)ジェイエイトしま やすらぎ会館二丈斎場オープン

JA糸島 経営理念

【基本理念】

わたしたちは、生命産業である農業の振興を図り、
豊かな地域社会の実現に貢献します。



【経営姿勢】

1. 農業振興を事業の中核として、組合員の暮らしと地域社会の発展に努めます。
2. 地域社会と共生し、地域から信頼されるJAであり続けます。
3. 変化を先取りし、更なる進歩をめざして、創造と革新に挑戦します。
4. 人を育て、人を活かし、活力溢れるJAをめざします。



協同組合経営の基本方針

(ガバナンスとコンプライアンス)

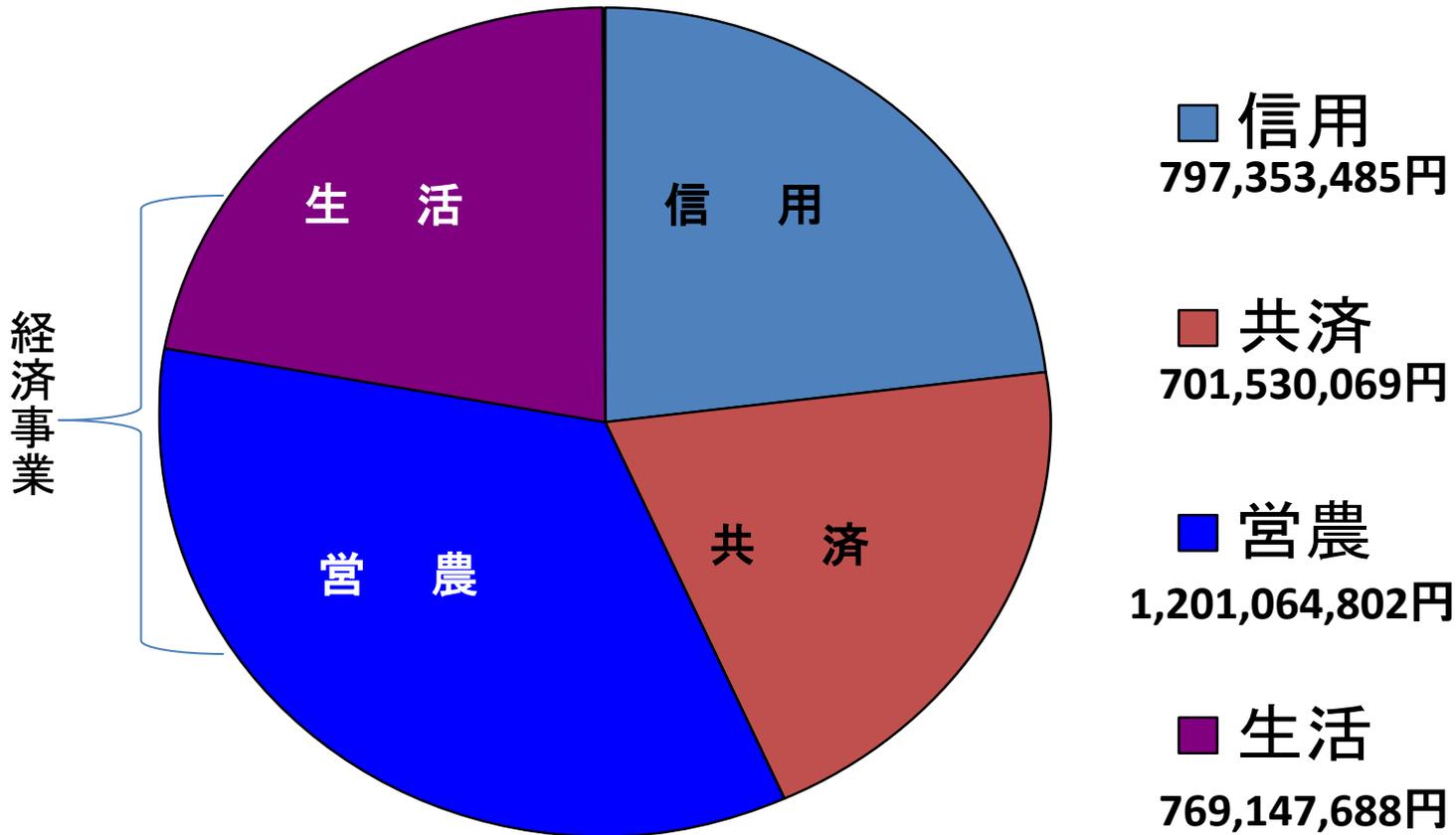
- ① 業務の有効性及び効率性
- ② 財務報告の信頼性
- ③ 事業活動に関わる法令等の遵守
- ④ 資産の保全

3. 各事業部門別の依存率

1) 平成20年度決算実績

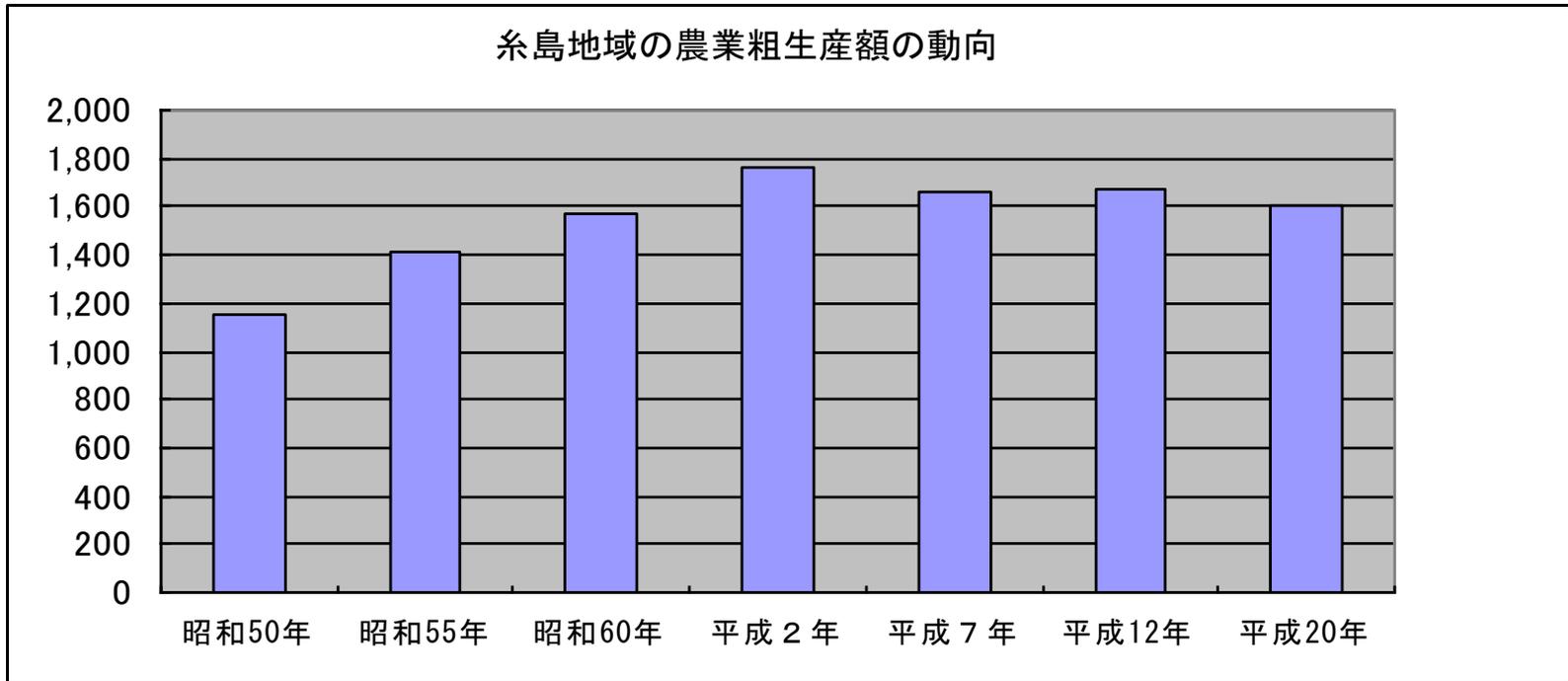
①事業総利益	3,450 百万円
②事業利益	137 百万円
③経常利益	295 百万円
④当期剰余金	205 百万円

2) 事業総利益に占める部門別割合



JA系島の特徴として、総事業利益のうち
経済事業の占める割合が約57%を占めている。

3. 管内の農産物粗生産高



4. 生産農協としてのチャレンジ

～販売高100億円をめざして～

1) JAの農産物共販取扱高

“チャレンジ100億円”への取り組み

①直売部門の販売事業として

直売所 産直市場 **糸** 伊都菜彩を開設

② **糸** マークの商標登録

生産者、JA職員への動機づけ



糸島農業協同組合
代表理事組合長 松尾 照和



☎ マークは、昭和37年糸島郡農協発足の時、生まれ、それ以来多くの方に愛され続けました。時を経て平成19年、☎ マークが正式に商標登録した事を機に、今まで以上に、「生命産業である農業の振興を図り、豊かな地域社会の実現に貢献します」という、JA糸島の基本理念に基づき、また、食と農に関わる文化の発展と、次世代を担う子供たちに対し農業への夢の継承が大きな社会的役割を果たすシンボルになると考えます。その為には、第一に生産者、農協職員、一人一人が「糸島産であること」の揺るがないこだわりと誇りを持ち続けること。第二は、常に変化するグローバルなマーケットニーズに対応出来る新たなこだわりの商品やサービスをつくり出し続けることだと考えます。JA糸島産直市場 ☎伊都菜彩は、生産者と消費者が直接向き合いコミュニケーション出来る大切な場です。そこにはお客様の様々なニーズとアイデアがあります。糸島の大地にはそのニーズに対応出来る、全てが揃っています。今後さらに ☎ マークを次世代に受け継がれるブランドとし、「糸島産であること」の人、大地、生産物をもって、皆様に愛され、信頼されるJAとして、組合員、役員一同精励してまいります。

「まるいと」とは…

「糸島産」であること、
語りたことがいっぱいあります。
糸島を愛するみんなの温かいこころ、
糸島の大地での農業への情熱、
信頼を守ること、お客様に満足していただく喜び、
どれだけ語っても、言い尽くすことのない思い。
それを、わたしたちは上手な言葉で伝えるのは苦手です。
だからこそ、糸島産を表す☎マークに、
私たちの静かで、熱い誇りを
昔からそしてこれからも語り継いでいきます。

●まるいとの歴史



昭和37年第1回合併委員会



園芸流通センター

昭和37年 11月 14農協2連合会大同合併により
糸島郡農業協同組合発足

昭和39年	10月	ミカン選果場建設
昭和43年	10月	糸島郡農協本所落成
昭和46年	10月	第二選果場建設
昭和49年	6月	生活センター前原店オープン
昭和50年	1月	福岡西部家畜市場小豚初市開設
昭和53年	1月	農業危機突破糸島郡民大会開催
	7月	農林省が「農林水産省」となる
昭和56年	10月	前原カンントリーエレベーター、水稲集荷開始
昭和58年	4月	二丈・浜玉有料道路開通(8.5km)
平成2年	2月	前原町、人口15万人突破
	4月	オートプラザ(本所給油所)オープン
平成4年	4月	「農協」から「JA」へ愛称変更
	10月	前原市制施行
平成6年	10月	協同会社(株)ジェイエイとしま発足、葬祭事業開始
平成7年	11月	昭和17年から53年間続いた「食糧管理法」が改正され「新食糧法」が施行
平成9年	4月	消費税が3%から5%に引き上げ
	7月	営農総合センター建設
平成10年	7月	JA糸島園芸流通センター稼働
平成12年	1月	JR筑肥線下山門～筑前原駅間の複線化完成
	2月	JR前原駅に「JAホルタ」を建設
平成17年	5月	支店統廃合 3総合支店・6金融支店スタート
	6月	「食育基本法」が成立
平成19年	4月	JA糸島産直市場☎伊都菜彩 オープン
	12月	☎マークを商標登録

JA糸島チャレンジ100億円必達振興大会



2) 直営の農産物直売所開設の目的

消費地に向いていくのか、

消費者に来てもらうのか・・・

また、糸島地域には、豊かな自然と景観があるが・・・

観光施設といえるものが無かった。

■伊都菜彩開設の中でめざした5つの「場」

- ① 高齢化する農家組合員や女性の担い手が活躍できる「場」づくり
- ② 糸島地域の「食」に関わる産業者が連携し、地産地消運動の拠点としての「場」づくり(観光施設であり、地産地消活動の拠点)
- ③ 中間流通コストを可能な限り削減し、農業所得の向上を図る「場」
- ④ 共販出荷者のB級品を有利販売し、農業所得の向上を図る「場」
- ⑤ JAが新たな販売チャネルを創造することで、JAの共販から離れていった組合員を組合の販売事業へ再結集させる「場」

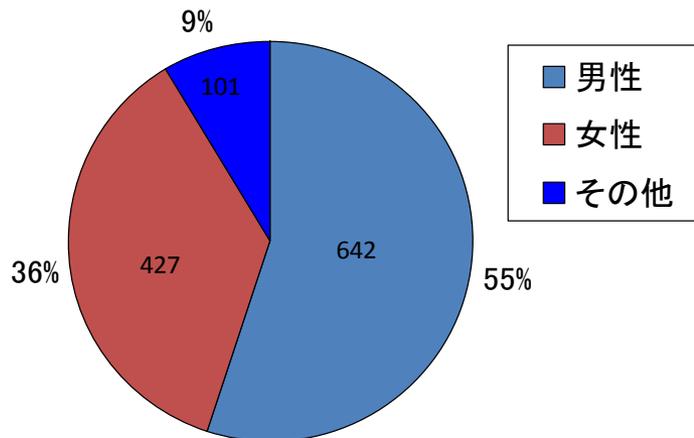
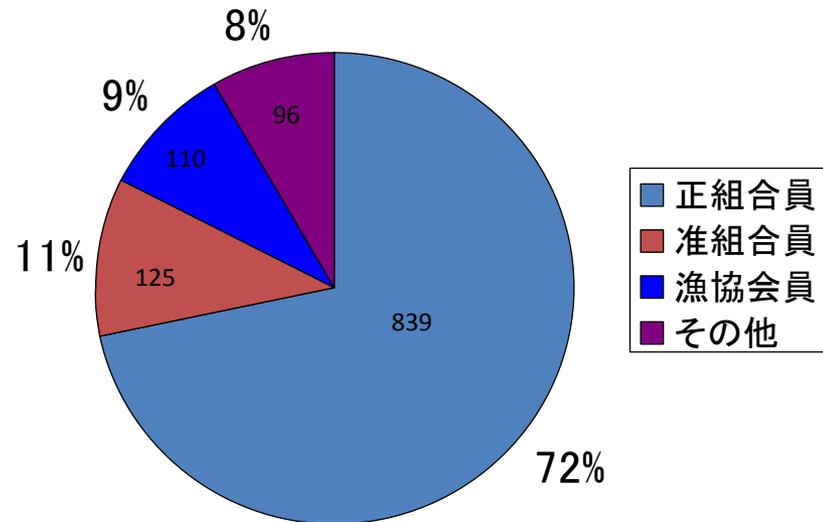
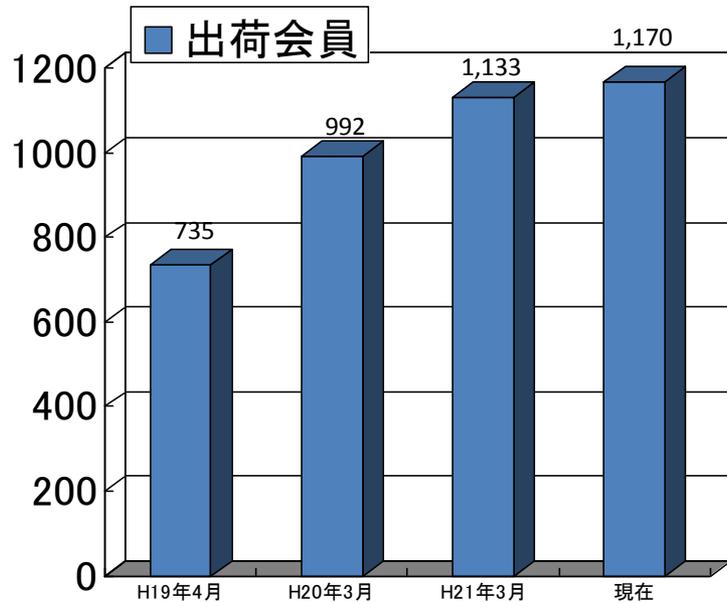
3) JA直売所としての伊都菜彩の開設

総敷地面積 19,653.90 m² (5,945坪)
店舗面積 2,440.20m² (738坪)
売場面積 1,268.14m² (384坪)
駐車場 収容可能台数 約400台



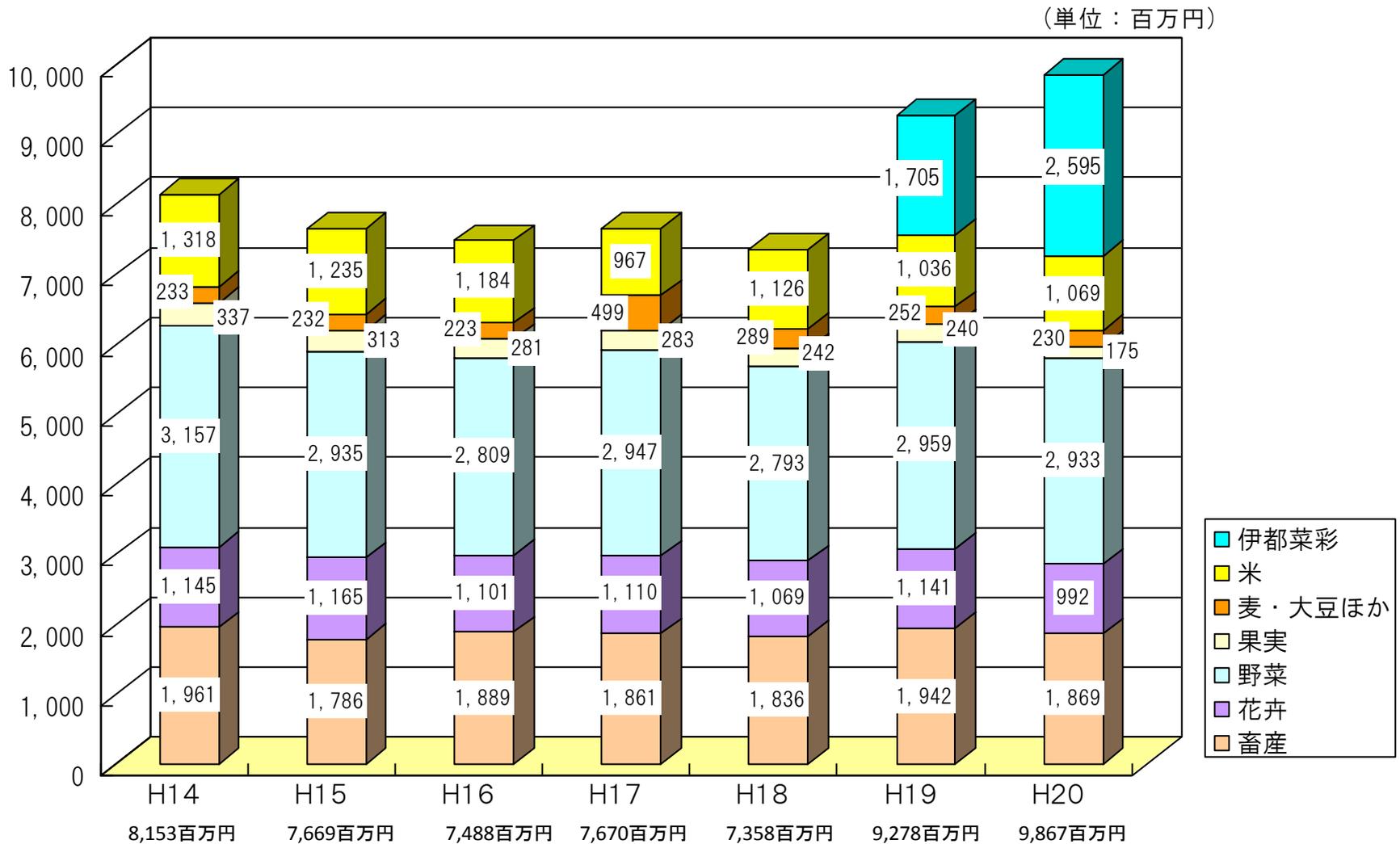


4) 出荷会員の推移と状況



○出荷者の平均年齢 ... 58.7歳
最高年齢 87歳
最低年齢 24歳

2) 販売品（農産物）の取扱実績の推移



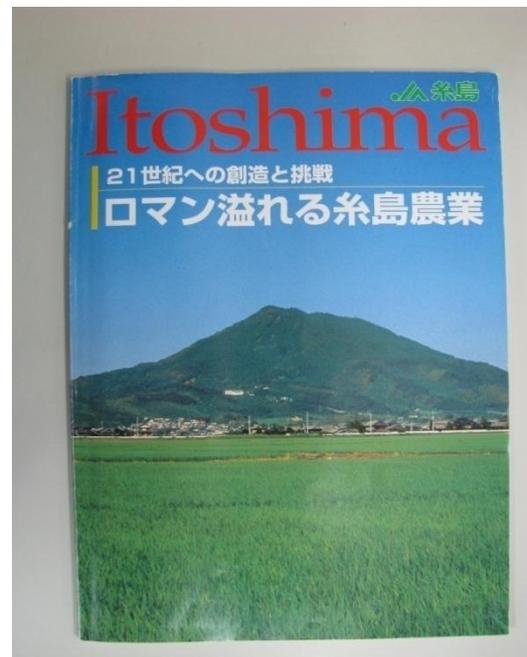
5. 人づくりは組織づくりの原点

スタートは、組合員意向調査から・・・

- ・ 組合員世帯の89% (3,437戸) から将来の農業経営に対する意向や後継者の確保状況を調査した。
 - ① 組合員の抱える悩み・不安
 - ② 後継者がいない・・・。
 - ③ 高齢化によるリタイア
- ・ 糸島地域の経営耕地面積の約40%が耕作放棄地となる恐れがある。

組合員に対しての糸島農業ビジョン

- ・ 21世紀への創造と挑戦
- 「ロマン溢れる糸島農業」の策定



3つの目標設定と営農総合センターを拠点とした地域農業振興

- 平成7年、JA糸島長期農業振興計画として「ロマン溢れる糸島農業」を策定し、3づくり運動を展開。
- JAを「3づくり運動」を支えるサポート体と位置づけ、その拠点として営農総合センターを建設した。



糸島農業を担う
活力ある人づくり



消費者に信頼される
すばらしいものづくり



農を基盤とした
魅力ある豊かな
地域づくり

平成21年度 集落リーダー研修会



研修会
「農地制度改革について」
JA福岡中央会農業対策部
次長 杉町 善徳氏
演題
「人を活かす経営」
株式会社 代表取締役
川原 正孝氏

糸島農業協同組合



6. JAのホスピタリティ

1) 組合員からの視点と顧客からの視点

- ① JAに対する組合員の願い . . .
- ② 消費者が期待するJAの価値 . . .

「組合員、利用者を目線に立った活動と行動を . . . 」

窓口セールスロールプレイング大会

JA マイカーローン 特別金利

固定金利	1.8%
変動金利	2.3%
返済期間	1.9年
返済回数	2.4回

おかしな世界

華

人の年金自動受取



ドリームフェスティバル～JAファンへの感謝祭～



糸島地域のJAファンを対象とした感謝祭も今年で20回目となります。

